

# Luk

## Chapter 20

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 Καὶ ἐγένετο ἐν μιᾷ τῶν ἡμερῶν, διδάσκοντος αὐτοῦ τὸν λαὸν ἐν  
そして 起こった に ある その 日に 教えている-間に 彼が その 民を の中で  
[G2532](#) [G1096](#) [G1722](#) [G1520](#) [G3588](#) [G2250](#) [G1321](#) [G0846](#) [G3588](#) [G2992](#) [G1722](#)
- τῷ ἱερῷ, καὶ εὐαγγελιζομένου, ἐπέστησαν οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ  
その 神殿で そして 福音を-宣べ伝えていると やって来た その 祭司長たちと と その  
[G3588](#) [G2411](#) [G2532](#) [G2097](#) [G2186](#) [G3588](#) [G0749](#) [G2532](#) [G3588](#)
- γραμματεῖς σὺν τοῖς πρεσβυτέροις,  
律法学者たちが と-ともに その 長老たちと  
[G1122](#) [G4862](#) [G3588](#) [G4245](#)

ある日、イエスが宮で人々に教え、福音を宣べておられると、祭司長や律法学者たちが、長老たちと共に近寄ってきて、

- 2 καὶ εἶπαν λέγοντες, πρὸς αὐτόν, Εἶπὸν ἡμῖν ἐν ποίᾳ ἐξουσίᾳ  
そして 言った 言って に-向かって 彼に 告げなさい 私たちに に どの 権威で  
[G2532](#) [G3004](#) [G3004](#) [G4314](#) [G0846](#) [G3004](#) [G1473](#) [G1722](#) [G4169](#) [G1849](#)
- ταῦτα ποιεῖς, ἢ τίς ἐστὶν ὁ δοῦς σοι τὴν ἐξουσίαν  
これらの-ことを するのか あるいは だれ である 冠詞 与えた あなたに この 権威を  
[G3778](#) [G4160](#) [G2228](#) [G5101](#) [G1510](#) [G3588](#) [G1325](#) [G4771](#) [G3588](#) [G1849](#)
- ταύτην?  
この  
[G3778](#)

イエスに言った、「何の権威によってこれらの事をするのですか。そうする権威をあなたに与えたのはだれですか、わたしたちに言ってください」。

- 3 ἀποκριθεὶς δὲ, εἶπεν πρὸς αὐτούς, Ἐρωτήσω ὑμᾶς κἀγὼ λόγον,  
答えて そして 言った に-向かって 彼らに 尋ねよう あなたがたに わたしも 言葉を  
[G0611](#) [G1161](#) [G3004](#) [G4314](#) [G0846](#) [G2065](#) [G4771](#) [G2504](#) [G3056](#)
- καὶ εἶπατέ μοι:  
そして 言いなさい わたしに  
[G2532](#) [G3004](#) [G1473](#)

そこで、イエスは答えて言われた、「わたしも、ひと言たずねよう。それに答えてほしい。

- 4 Τὸ βάπτισμα Ἰωάννου, ἐξ οὐρανοῦ ἦν, ἢ ἐξ ἀνθρώπων?  
冠詞 バプテスマは ヨハネの から 天から であったか あるいは から 人から-であったか  
[G3588](#) [G0908](#) [G2491](#) [G1537](#) [G3772](#) [G1510](#) [G2228](#) [G1537](#) [G0444](#)

ヨハネのバプテスマは、天からであったか、人からであったか」。

- 5 οἱ δὲ συνελογίσαντο πρὸς ἑαυτούς, λέγοντες, ὅτι Ἐὰν εἴπωμεν Ἐξ  
その すると 論じ合った の-間で 自分たちの 言って こう もし 言えば から  
[G3588](#) [G1161](#) [G4817](#) [G4314](#) [G1438](#) [G3004](#) [G3754](#) [G1437](#) [G3004](#) [G1537](#)
- οὐρανοῦ, ἐρεῖ, Διὰ τί οὐκ ἐπιστεύσατε αὐτῷ?  
天から 言うだろう なぜ こう ない 信じなかったのか-と 彼を  
[G3772](#) [G2046](#) [G1223](#) [G5101](#) [G3756](#) [G4100](#) [G0846](#)

彼らは互に論じて言った、「もし天からだと言えば、では、なぜ彼を信じなかったのか、とイエスは言うだろう。

6 ἐὰν δὲ εἴπωμεν, Ἐξ ἀνθρώπων, ὁ λαὸς ἅπας καταλιθάσει  
もし しかし 言え ば から 人から-と その 民は みな 石で-打ち殺すだろう  
[G1437](#) [G1161](#) [G3004](#) [G1537](#) [G0444](#) [G3588](#) [G2992](#) [G0537](#) [G2642](#)

ἡμᾶς; πεπεισμένοι γάρ ἐστιν Ἰωάννην προφήτην εἶναι.  
私たちに 確信している なぜなら からだ ヨハネが 預言者 であることを  
[G1473](#) [G3982](#) [G1063](#) [G1510](#) [G2491](#) [G4396](#) [G1510](#)

しかし、もし人からだと言えば、民衆はみな、ヨハネを預言者だと信じているから、わたしたちを石で打つだろう」。

7 καὶ ἀπεκρίθησαν, μὴ εἰδέναι πόθεν.  
そして 答えた ない 知ら-ないと どこから-かを  
[G2532](#) [G0611](#) [G3361](#) [G1492](#) [G4159](#)

それで彼らは「どこからか、知りません」と答えた。

8 καὶ ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Οὐδὲ ἐγὼ λέγω ὑμῖν ἐν  
そこで 冠詞 イエスは 言った 彼らに わたし-も わたしは 言わない あなたがたに に  
[G2532](#) [G3588](#) [G2424](#) [G3004](#) [G0846](#) [G3761](#) [G1473](#) [G3004](#) [G4771](#) [G1722](#)

ποιᾶ ἐξουσίας ταῦτα ποιῶ.  
どの 権威で これらの-ことを するかを  
[G4169](#) [G1849](#) [G3778](#) [G4160](#)

イエスはこれに対して言われた、「わたしも何の権威によってこれらの事をするのか、あなたがたに言うまい」。

9 ἤρξατο δὲ πρὸς τὸν λαὸν λέγειν τὴν παραβολὴν ταύτην:  
始めた そして に-向かって その 民に 語る-ことを この たとえを この  
[G0756](#) [G1161](#) [G4314](#) [G3588](#) [G2992](#) [G3004](#) [G3588](#) [G3850](#) [G3778](#)

ἄνθρωπος [τις] ἐφύτευσεν ἀμπελῶνα, καὶ ἐξέδετο αὐτὸν γεωργοῖς, καὶ  
ある-人が ひとりの 植えた ぶどう園を そして 貸し出した それを 農夫たちに そして  
[G0444](#) [G5100](#) [G5452](#) [G0290](#) [G2532](#) [G1554](#) [G0846](#) [G1092](#) [G2532](#)

ἀπεδήμησεν χρόνους ἰκανούς.  
旅に出た 長い 期間  
[G0589](#) [G5550](#) [G2425](#)

そこでイエスは次の譬を民衆に語り出された、「ある人がぶどう園を造って農夫たちに貸し、長い旅に出た。

10 καὶ καιρῷ, ἀπέστειλεν πρὸς τοὺς γεωργοὺς δοῦλον, ἵνα ἀπὸ τοῦ  
そして 時に 遣わした に-向かって その 農夫たちに しもべを ために から その  
[G2532](#) [G2540](#) [G0649](#) [G4314](#) [G3588](#) [G1092](#) [G1401](#) [G2443](#) [G0575](#) [G3588](#)

καρποῦ τοῦ ἀμπελῶνος δώσουσιν αὐτῷ. οἱ δὲ γεωργοὶ ἐξαπέστειλαν,  
実を その ぶどう園の 渡す-ように 彼に その しかし 農夫たちは 追い返した  
[G2590](#) [G3588](#) [G0290](#) [G1325](#) [G0846](#) [G3588](#) [G1161](#) [G1092](#) [G1821](#)

αὐτὸν δείραντες, κενόν.  
彼を 打って 空手で  
[G0846](#) [G1194](#) [G2756](#)

季節になったので、農夫たちのところへ、ひとりの僕を送って、ぶどう園の収穫の分け前を出させようとした。ところが、農夫たちは、その僕を袋だたきにし、から手で帰らせた。

- 11 καὶ προσέθετο ἕτερον πέμψαι δοῦλον; οἱ δὲ κακέϊνον, δείραντες  
 そして さらに-送った もう一人の 送る-ことを しもべを しかし その その-者も 打って  
[G2532](#) [G4369](#) [G2087](#) [G3992](#) [G1401](#) [G3588](#) [G1161](#) [G2548](#) [G1194](#)
- καὶ ἀτιμάσαντες, ἐξαπέστειλαν κενόν.  
 そして 辱めて 追い返した 空手で  
[G2532](#) [G0818](#) [G1821](#) [G2756](#)

そこで彼はもうひとりの僕を送った。彼らはその僕も袋だたきにし、侮辱を加えて、から手で帰らせた。

- 12 καὶ προσέθετο τρίτον πέμψαι; οἱ δὲ καὶ τοῦτον τραυματίσαντες,  
 そして さらに-送った 三人目を 送る-ことを しかし その また この-者も 傷つけて  
[G2532](#) [G4369](#) [G5154](#) [G3992](#) [G3588](#) [G1161](#) [G2532](#) [G3778](#) [G5135](#)
- ἐξέβαλον.  
 追い出した  
[G1544](#)

そこで更に三人目の者を送ったが、彼らはこの者も、傷を負わせて追い出した。

- 13 εἶπεν δὲ ὁ κύριος τοῦ ἀμπελῶνος, τί ποιήσω? πέμψω τὸν  
 言った そして その 主人は その ぶどう園の 何を しよう 送ろう わたしの  
[G3004](#) [G1161](#) [G3588](#) [G2962](#) [G3588](#) [G0290](#) [G5101](#) [G4160](#) [G3992](#) [G3588](#)
- υἱόν μου, τὸν ἀγαπητόν; ἴσως τοῦτον ἐντραπήσονται.  
 息子を わたしの その 愛する おそらく この-者は 敬うだろう  
[G5207](#) [G1473](#) [G3588](#) [G0027](#) [G2481](#) [G3778](#) [G1788](#)

ぶどう園の主人は言った、『どうでしょうか。そうだ、わたしの愛子をつかわそう。これなら、たぶん敬ってくれるだろう』。

- 14 ἰδόντες δὲ αὐτόν, οἱ γεωργοὶ διελογίζοντο πρὸς ἀλλήλους, λέγοντες,  
 見て しかし 彼を その 農夫たちは 論じ合った の-間で 互いに 言って  
[G3708](#) [G1161](#) [G0846](#) [G3588](#) [G1092](#) [G1260](#) [G4314](#) [G0240](#) [G3004](#)
- Οὗτός ἐστιν ὁ κληρονόμος; ἀποκτείνωμεν αὐτόν, ἵνα ἡμῶν  
 この-者は である その 相続人だ 殺そう 彼を ために 私たちの  
[G3778](#) [G1510](#) [G3588](#) [G2818](#) [G0615](#) [G0846](#) [G2443](#) [G1473](#)
- γένηται ἢ κληρονομία.  
 ものと-なるように その 遺産が  
[G1096](#) [G3588](#) [G2817](#)

ところが、農夫たちは彼を見ると、『あれはあと取りだ。あれを殺してしまおう。そうしたら、その財産はわれわれのものになるのだ』と互に話し合い、

- 15 καὶ ἐκβαλόντες αὐτόν ἔξω τοῦ ἀμπελῶνος, ἀπέκτειναν. τί οὖν  
 そして 追い出して 彼を 外に その ぶどう園の 殺した 何を それでは  
[G2532](#) [G1544](#) [G0846](#) [G1854](#) [G3588](#) [G0290](#) [G0615](#) [G5101](#) [G3767](#)
- ποιήσει αὐτοῖς ὁ κύριος τοῦ ἀμπελῶνος?  
 するだろうか 彼らに その 主人は その ぶどう園の  
[G4160](#) [G0846](#) [G3588](#) [G2962](#) [G3588](#) [G0290](#)

彼をぶどう園の外に追い出して殺した。そのさい、ぶどう園の主人は、彼らをどうするだろうか。

16 ἐλεύσεται καὶ ἀπολέσει τοὺς γεωργοὺς τούτους, καὶ δώσει τὸν  
 来て そして 滅ぼすだろう その 農夫たちを これらの そして 与えるだろう その  
[G2064](#) [G2532](#) [G0622](#) [G3588](#) [G1092](#) [G3778](#) [G2532](#) [G1325](#) [G3588](#)

ἀμπελῶνα ἄλλοις. ἀκούσαντες δὲ εἶπαν, Μὴ γένοιτο!  
 ぶどう園を 他の-者たちに 聞いて すると 言った ない そんなことが-あってはならない  
[G0290](#) [G0243](#) [G0191](#) [G1161](#) [G3004](#) [G3361](#) [G1096](#)

彼は出てきて、この農夫たちを殺し、ぶどう園を他の人々に与えるであろう」。人々はこれを聞いて、「そんなことがあってはなりません」と言った。

17 ὁ δὲ ἐμβλέψας αὐτοῖς, εἶπεν, Τί οὖν ἐστὶν τὸ γεγραμμένον  
 冠詞 しかし じっと-見つめて 彼らを 言った 何 では であるか この 書かれていること  
[G3588](#) [G1161](#) [G1689](#) [G0846](#) [G3004](#) [G5101](#) [G3767](#) [G1510](#) [G3588](#) [G1125](#)

τοῦτο, λίθον ὃν ἀπεδοκίμασαν οἱ οἰκοδομοῦντες, οὗτος ἐγενήθη εἰς  
 これは 石を それを 退けた その 家を-建てる-者たちが これが なった への  
[G3778](#) [G3037](#) [G3739](#) [G0593](#) [G3588](#) [G3618](#) [G3778](#) [G1096](#) [G1519](#)

κεφαλὴν γωνίας?  
 隅の-かしら石に 隅の  
[G2776](#) [G1137](#)

そこで、イエスは彼らを見つめて言われた、「それでは、『家造りらの捨てた石が隅のかしら石になった』と書いてあるのは、どういうことか。

18 πᾶς ὁ πεσὼν ἐπ' ἐκεῖνον τὸν λίθον συνθλασθήσεται, ἐφ' ὃν  
 すべて その 落ちた の-上に あの その 石に 砕かれるだろう の-上に それが  
[G3956](#) [G3588](#) [G4098](#) [G1909](#) [G1565](#) [G3588](#) [G3037](#) [G4917](#) [G1909](#) [G3739](#)

δ' ἂν πέσῃ, λικμήσει αὐτόν.  
 しかし こう 落ちれば 粉々に-するだろう その-者を  
[G1161](#) [G0302](#) [G4098](#) [G3039](#) [G0846](#)

すべてその石の上に落ちる者は打ち砕かれ、それがだれかの上に落ちかかるなら、その人はこなみじんにされるであろう」。

19 Καὶ ἐζήτησαν οἱ γραμματεῖς καὶ οἱ ἀρχιερεῖς ἐπιβαλεῖν ἐπ'  
 そして 求めた その 律法学者たちと と その 祭司長たちは 手を-かけることを の-上に  
[G2532](#) [G2212](#) [G3588](#) [G1122](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0749](#) [G1911](#) [G1909](#)

αὐτόν τὰς χεῖρας, ἐν αὐτῇ τῇ ὥρᾳ; καὶ ἐφοβήθησαν τὸν λαόν;  
 彼に その 手を に その-同じ その 時に しかし 恐れた その 民を  
[G0846](#) [G3588](#) [G5495](#) [G1722](#) [G0846](#) [G3588](#) [G5610](#) [G2532](#) [G5399](#) [G3588](#) [G2992](#)

ἔγνωσαν γὰρ ὅτι πρὸς αὐτοὺς εἶπεν τὴν παραβολὴν ταύτην.  
 悟った なぜなら こう に-向けて 自分たちに 言った-と この たとえを この  
[G1097](#) [G1063](#) [G3754](#) [G4314](#) [G0846](#) [G3004](#) [G3588](#) [G3850](#) [G3778](#)

このとき、律法学者たちや祭司長たちはイエスに手をかけようと思ったが、民衆を恐れた。いまの譬が自分たちに当てて語られたのだと、悟ったからである。



26 καὶ οὐκ ἴσχυσαν ἐπιλαβέσθαι αὐτοῦ ῥήματος ἐναντίον τοῦ λαοῦ; καὶ  
 そして ない でできなかった 捕らえることが 彼の 言葉を の-前で その 民の そして  
[G2532](#) [G3756](#) [G2480](#) [G1949](#) [G0846](#) [G4487](#) [G1726](#) [G3588](#) [G2992](#) [G2532](#)  
 θαυμάσαντες ἐπὶ τῇ ἀποκρίσει αὐτοῦ, ἐσίγησαν.  
 驚いて に その 答えに 彼の 黙った  
[G2296](#) [G1909](#) [G3588](#) [G0612](#) [G0846](#) [G4601](#)

そこで彼らは、民衆の前でイエスの言葉じりを捕えることができず、その答に驚嘆して、黙ってしまった。

27 Προσελθόντες δέ τινες τῶν Σαδδουκαίων, οἱ ἀντιλέγοντες ἀνάστασιν  
 近づいて-来た そして ある者たち その サドカイ人の その 否定する 復活が  
[G4334](#) [G1161](#) [G5100](#) [G3588](#) [G4523](#) [G3588](#) [G0483](#) [G0386](#)  
 μὴ εἶναι, ἐπηρώτησαν αὐτὸν,  
 ない ある-と 尋ねた 彼に  
[G3361](#) [G1510](#) [G1905](#) [G0846](#)

復活ということはないと言い張っていたサドカイ人のある者たちが、イエスに近寄ってきて質問した、

28 λέγοντες, Διδάσκαλε, Μωϋσῆς ἔγραψεν ἡμῖν, ἐάν τινος ἀδελφὸς ἀποθάνῃ  
 言って 先生 モーセが 書きました 私たちに もし ある者の 兄弟が 死んだなら  
[G3004](#) [G1320](#) [G3475](#) [G1125](#) [G1473](#) [G1437](#) [G5100](#) [G0080](#) [G0599](#)  
 ἔχων γυναῖκα, καὶ οὗτος ἄτεκνος ἦ, ἵνα λάβῃ ὁ  
 持って 妻を そして この-者が 子なし であれば ように めとる-べきだ-と その  
[G2192](#) [G1135](#) [G2532](#) [G3778](#) [G0815](#) [G1510](#) [G2443](#) [G2983](#) [G3588](#)  
 ἀδελφὸς αὐτοῦ τὴν γυναῖκα, καὶ ἐξαναστήσῃ σπέρμα τῷ ἀδελφῷ  
 兄弟が 彼の その 妻を そして 起こす-べきだ 子孫を その 兄弟の-ために  
[G0080](#) [G0846](#) [G3588](#) [G1135](#) [G2532](#) [G1817](#) [G4690](#) [G3588](#) [G0080](#)  
 αὐτοῦ.  
 彼の  
[G0846](#)

「先生、モーセは、わたしたちのためにこう書いています、『もしある人の兄が妻をめとり、子がなくて死んだなら、弟はこの女をめとって、兄のために子をもうけねばならない』。

29 ἐπτά οὖν ἀδελφοὶ ἦσαν; καὶ ὁ πρῶτος, λαβὼν γυναῖκα, ἀπέθανεν  
 七人の さて 兄弟が いた そして その 最初の-者が めとって 妻を 死んだ  
[G2033](#) [G3767](#) [G0080](#) [G1510](#) [G2532](#) [G3588](#) [G4413](#) [G2983](#) [G1135](#) [G0599](#)  
 ἄτεκνος;  
 子なしに  
[G0815](#)

ところで、ここに七人の兄弟がいました。長男は妻をめとりましたが、子がなくて死に、

30 καὶ ὁ δεύτερος, <τὴν γυναῖκα, καὶ οὗτος ἀπέθανεν ἄτεκνος>;  
 そして その 二番目の-者が その 妻を そして この-者も 死んだ 子なしに  
[G2532](#) [G3588](#) [G1208](#) [G3588](#) [G1135](#) [G2532](#) [G3778](#) [G0599](#) [G0815](#)

そして次男、三男と、次々に、その女をめとり、

31 καὶ ὁ τρίτος ἔλαβεν αὐτήν; ὡσαύτως δὲ καὶ οἱ ἐπτά,  
 そして その 三番目の-者も めとった 彼女を 同様に そして また その 七人とも  
[G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G2983](#) [G0846](#) [G5615](#) [G1161](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2033](#)  
 οὐ κατέλιπον τέκνα, καὶ ἀπέθανον.  
 ない 子を-残さず 子を そして 死んだ  
[G3756](#) [G2641](#) [G5043](#) [G2532](#) [G0599](#)

七人とも同様に、子をもうけずに死にました。

32 ὕστερον καὶ ἡ γυνὴ ἀπέθανεν.  
最後に また その 妻も 死んだ  
[G5305](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1135](#) [G0599](#)

のちに、その女も死にました。

33 ἡ γυνὴ οὖν, ἐν τῇ ἀναστάσει, τίνος αὐτῶν γίνεται γυνή? οἱ  
その 妻は それでは に その 復活の-とき だれの 彼らの なるのか 妻に その  
[G3588](#) [G1135](#) [G3767](#) [G1722](#) [G3588](#) [G0386](#) [G5101](#) [G0846](#) [G1096](#) [G1135](#) [G3588](#)  
γὰρ ἑπτὰ ἔσχον αὐτὴν γυναῖκα.  
なぜなら 七人とも めとった 彼女を 妻として  
[G1063](#) [G2033](#) [G2192](#) [G0846](#) [G1135](#)

さて、復活の時には、この女は七人のうち、だれの妻になるのですか。七人とも彼女を妻にしたのですが。

34 καὶ εἶπεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Οἱ υἱοὶ τοῦ αἰῶνος τούτου γαμοῦσιν  
そして 言った 彼らに 冠詞 イエスは この 世の この 時代の この めとり  
[G2532](#) [G3004](#) [G0846](#) [G3588](#) [G2424](#) [G3588](#) [G5207](#) [G3588](#) [G0165](#) [G3778](#) [G1060](#)

καὶ γαμίσκονται;  
また とつがせられる  
[G2532](#) [G1061](#)

イエスは彼らに言われた、「この世の子らは、めとったり、とついだりするが、

35 οἱ δὲ καταξιοθέντες τοῦ αἰῶνος ἐκείνου τυχεῖν, καὶ  
しかし その ふさわしいと-された-者たちは その 時代に あの あずかることに そして  
[G3588](#) [G1161](#) [G2661](#) [G3588](#) [G0165](#) [G1565](#) [G5177](#) [G2532](#)  
τῆς ἀναστάσεως τῆς ἐκ νεκρῶν, οὔτε γαμοῦσιν οὔτε  
その 復活に その からの 死者からの ない めとることも ない  
[G3588](#) [G0386](#) [G3588](#) [G1537](#) [G3498](#) [G3777](#) [G1060](#) [G3777](#)  
γαμίζονται;  
とつがせられることも-ない  
[G1061](#)

かの世にはいって死人からの復活にあずかるにふさわしい者たちは、めとったり、とついだりすることはない。

36 οὐδὲ γὰρ ἀποθανεῖν ἔτι δύνανται: ἰσαγγελοὶ γὰρ εἰσιν; καὶ  
ない なぜなら 死ぬことも もう できない 御使いに-等しい なぜなら 者である そして  
[G3761](#) [G1063](#) [G0599](#) [G2089](#) [G1410](#) [G2465](#) [G1063](#) [G1510](#) [G2532](#)  
υἱοὶ εἰσιν Θεοῦ, τῆς ἀναστάσεως υἱοὶ ὄντες.  
子ら である 神の その 復活の 子ら であるから  
[G5207](#) [G1510](#) [G2316](#) [G3588](#) [G0386](#) [G5207](#) [G1510](#)

彼らは天使に等しいものであり、また復活にあずかるゆえに、神の子でもあるので、もう死ぬことはあり得ないからである。

37 ὅτι δὲ ἐγείρονται οἱ νεκροὶ, καὶ Μωϋσῆς ἐμήνυσεν ἐπὶ τῆς  
 しかし こう よみがえることは その 死者が また モーセも 示した に その  
[G3754](#) [G1161](#) [G1453](#) [G3588](#) [G3498](#) [G2532](#) [G3475](#) [G3377](#) [G1909](#) [G3588](#)

Βάτου, ὡς λέγει Κύριον τὸν Θεὸν Ἀβραὰμ, καὶ Θεὸν Ἰσαὰκ, καὶ  
 柴の-箇所で と 呼んでいる 主を その 神と アブラハムの また 神と イサクの また  
[G0942](#) [G5613](#) [G3004](#) [G2962](#) [G3588](#) [G2316](#) [G0011](#) [G2532](#) [G2316](#) [G2464](#) [G2532](#)

Θεὸν Ἰακώβ;  
 神と ヤコブの  
[G2316](#) [G2384](#)

死人がよみがえることは、モーセも柴の篇で、主を『アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神』と呼んで、これを示した。

38 Θεὸς δὲ οὐκ ἔστιν νεκρῶν, ἀλλὰ ζώντων; πάντες γὰρ  
 神は しかし ない ではない 死者の むしろ 生きている-者の すべて なぜなら  
[G2316](#) [G1161](#) [G3756](#) [G1510](#) [G3498](#) [G0235](#) [G2198](#) [G3956](#) [G1063](#)

αὐτῷ ζῶσιν.  
 彼に-とって 生きている-のだから  
[G0846](#) [G2198](#)

神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神である。人はみな神に生きるものだからである」。

39 ἀποκριθέντες δέ, τινες τῶν γραμματέων εἶπαν, Διδάσκαλε, καλῶς  
 答えて すると ある者たち その 律法学者たちの 言った 先生 よく  
[G0611](#) [G1161](#) [G5100](#) [G3588](#) [G1122](#) [G3004](#) [G1320](#) [G2573](#)

εἶπας.  
 言われました  
[G3004](#)

律法学者のうちのある人々が答えて言った、「先生、仰せのとおりです」。

40 οὐκέτι γὰρ ἐτόλμων ἐπερωτᾶν αὐτὸν οὐδέν.  
 もはや なぜなら あえて-しなかった 尋ねる-ことを 彼に 何も  
[G3765](#) [G1063](#) [G5111](#) [G1905](#) [G0846](#) [G3762](#)

彼らはそれ以上何もあえて問いかけようとしなかった。

41 Εἶπεν δὲ πρὸς αὐτούς, Πῶς λέγουσιν τὸν Χριστὸν εἶναι  
 言った そして に-向かって 彼らに どうして 言うのか その キリストが である-と  
[G3004](#) [G1161](#) [G4314](#) [G0846](#) [G4459](#) [G3004](#) [G3588](#) [G5547](#) [G1510](#)

Δαυὶδ υἱόν;  
 ダビデの 子で  
[G1138](#) [G5207](#)

イエスは彼らに言われた、「どうして人々はキリストをダビデの子だと言うのか。」

42 αὐτὸς γὰρ Δαυὶδ λέγει ἐν βίβλῳ ψαλμῶν, Εἶπεν Κύριος τῷ  
 なぜなら こう ダビデ-自身が 言っている に 詩篇の 書で 言った 主が その  
[G0846](#) [G1063](#) [G1138](#) [G3004](#) [G1722](#) [G0976](#) [G5568](#) [G3004](#) [G2962](#) [G3588](#)

Κυρίῳ μου, Κάθου ἐκ δεξιῶν μου,  
 主に-向かって わたしの 座りなさい の 右に わたしの  
[G2962](#) [G1473](#) [G2521](#) [G1537](#) [G1188](#) [G1473](#)

ダビデ自身が詩篇の中で言っている、『主はわが主に仰せになった、

43 ἕως ἄν θῶ τοὺς ἐχθρούς σου, ὑποπόδιον τῶν ποδῶν σου.  
まで こう 置く その 敵を あなたの 足台として その 足の あなたの  
[G2193](#) [G0302](#) [G5087](#) [G3588](#) [G2190](#) [G4771](#) [G5286](#) [G3588](#) [G4228](#) [G4771](#)

あなたの敵をあなたの足台とする時までには、わたしの右に座していなさい』。

44 Δαυὶδ οὐκ αὐτὸν ἰσχυρὸν Κύριον καλεῖ, καὶ πῶς αὐτοῦ υἱὸς ἐστίν?  
ダビデが それでは 彼を 主と 呼んでいる では どうして 彼の 子 であるのか  
[G1138](#) [G3767](#) [G0846](#) [G2962](#) [G2564](#) [G2532](#) [G4459](#) [G0846](#) [G5207](#) [G1510](#)

このように、ダビデはキリストを主と呼んでいる。それなら、どうしてキリストはダビデの子であろうか」。

45 Ἀκούοντος δὲ παντὸς τοῦ λαοῦ, εἶπεν τοῖς μαθηταῖς [αὐτοῦ],  
聞いている-間に そして すべての その 民が 言った その 弟子たちに 彼の  
[G0191](#) [G1161](#) [G3956](#) [G3588](#) [G2992](#) [G3004](#) [G3588](#) [G3101](#) [G0846](#)

民衆がみな聞いているとき、イエスは弟子たちに言われた、

46 Προσέχετε ἀπὸ τῶν γραμματέων, τῶν θελώντων περιπατεῖν ἐν  
気をつけなさい から その 律法学者たちに その 好む 歩き回る-ことを の中を  
[G4337](#) [G0575](#) [G3588](#) [G1122](#) [G3588](#) [G2309](#) [G4043](#) [G1722](#)

στολαῖς, καὶ φιλοῦντων ἀσπασμούς ἐν ταῖς ἀγοραῖς, καὶ πρωτοκαθεδρίας  
長い-衣で そして 好む 挨拶を の中で その 広場で そして 上席を  
[G4749](#) [G2532](#) [G5368](#) [G0783](#) [G1722](#) [G3588](#) [G0058](#) [G2532](#) [G4410](#)

ἐν ταῖς συναγωγαῖς, καὶ πρωτοκλισίας ἐν τοῖς δεῖπνοις;  
の中で その 会堂で そして 上座を の中で その 宴会で  
[G1722](#) [G3588](#) [G4864](#) [G2532](#) [G4411](#) [G1722](#) [G3588](#) [G1173](#)

「律法学者に気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩くのを好み、広場での敬礼や会堂の上席や宴会の上座をよろこび、

47 οἱ κατεσθίουσιν τὰς οἰκίας τῶν χηρῶν, καὶ προφάσει μακρὰ  
彼らは 食い尽くす その 家を その やもめたちの そして 見せかけに 長い  
[G3739](#) [G2719](#) [G3588](#) [G3614](#) [G3588](#) [G5503](#) [G2532](#) [G4392](#) [G3117](#)

προσεύχονται. οὗτοι λήμψονται περισσότερον κρίμα.  
祈りをする この-者たちは 受けるだろう より-重い さばきを  
[G4336](#) [G3778](#) [G2983](#) [G4053](#) [G2917](#)

やもめたちの家を食い倒し、見えのために長い祈りをする。彼らはもっときびしいさばきを受けるであろう」。